

玩具教育協會案玩具使用法と效果

東洋幼稚園牛込分園長

久門 嘉祐

玩具の教育を實行せんとするには從來のでは満足が出来ない、此際是非完全な玩具を得たいといふことから玩具教育協會の設立を見たのである。即ち本會の精神として子供の玩具本能を遺憾なく發揮せしむる種の玩具を世間に供給したい希望で著々研究しつゝあるので既に製品となつた玩具も五六十種に及んで居たのであるが、これを以て満足して居るものではない。幸に普く識者の批評高見を得充分の保護監督の下に他日を期する次第である、乞ふ諒とせられんことを。

次に本會既製玩具の實際使用法及其效果の見易い點を記述せんに。

○總體的方法

(一)自由放任法

室内外の適當なる場合に陳列して置いて保母先生の監督なしに純然たる自由でいづくらせるので

ある。

(二)課業法

子供の自由ばかりに任せて置くのは動もすれば危険である。即ち時々發動する長所或は短所に偏して自然の發育を妨げるやうになるのである。課業法は其調節である。又自由の中に義務を養ひ規律を養ふ上に於ても亦心身の休息としても課業法は是非必要である。

但し茲にいふ課業法とは活動の一日中にて一回だけ十分二十分三十分(程度により)位のみつちりやる課業である。小學校のやうに一時間／＼教授細目によりてやるやうな課業でないこと勿論である。

(三)玩具の取扱法(先生側)

自由法、課業法といつても一人一人勝手にやるのと、皆一緒にやるといふ相違と自由法に於ては先生は一切に手を出さない。打ちらかしにして置

くのと課業法では備付の翫物各種を先課に日に割り當て課するのである従つて規律を重んじ義務に服従せしめ厭の應の言はせない嫌ひなものである我慢させる。そして先生が巡視して質問には答へ困つて居る處は教へ、或は手傳つてあげるといふ風に臨機に整理するのである。課業法だからといつて頭から物を教へるのではないのである。

(4) 效果

效果といふと、いつでも其直接效果のみに没頭するのが常であるが、之は教育上の遺憾事であり、其子供に依つて或は場合に依つては寧ろ副産的効果の方が大であるといふことが決して尠くないのである。而してそれが又偶然でないといふ事情もある。即ち直接效果は、どうも先生が強い傾向があるそれに反し副産的効果は全く子供が自然にそれに、ぶつかつて自分で味ふのであるからである。

副産的効果の一例を掲ぐれば、靜かに細かく遊ぶ翫物に依つて、これまで、そわ／＼一向落付かない子供が不圖發心して萬事に落付いて來るとか、或は常に引つ込み思案のものが或る翫物でむづか

しいと思ひつめて居ることを遂に仕遂げたが爲めに、非常に氣が開けて、今度は何にでも手を出すといふ風に進發的になつて頭が非常に良くなるといふことがあるのである。凡ての場合にこの副産的効果といふことの大なるを感ずるのである。

○翫物教育協會の翫物の

使用法及效果

第一翫物 鉛筆箱

五角形になつてゐて二つに開くやうになつてゐる上品な綺麗な箱であるそして至極丈夫である。

まあ毀れるといふことはないといつてもよい。

(效果) 幼兒は其箱がうれしい、繪をかく前に既にうれいといふ心の非常な餘裕がありつゝいて繪を満足してかくのである。如何に活動性に乏しい趣味の薄い繪の嫌ひなものでも鉛筆箱のうれしい心に釣り込まれて愉快に繪をかくのである。

第二翫物 低梁木……室内外運動具

極平和な上品なそして面白く遊べる運動具である。長四間の直線式のもあり又長さ一間宛に切

つた排列式のものもある。排列式のは並行にでも四角形にでも隨意に並べることが出来るとして幼児で自由に出来る。室内へでも室外へでも運べる。毀れない、そして幼児に危険の絶對にない安全な運動具である。

多数の子供が同時にやつて而も一人一人自由勝手にでも、又課業的にも出来る。一體課業的には自然相當の規律を守らなければならぬ又平素出来ない厭だとするところでも一奮發せねばならぬことになる。

第三齣物 絲卷

可愛い絲卷に色絲を自由に巻くのであるが女の子は勿論非常に喜ぶのであるが、男の子も喜んで巻く。始めには普通に巻いてゐるが、色々工夫して段々には圖呆卷をするやうになり。此遊びで頗る嬉しいのは、最初は誰れでも逆卷をするのである。それに本卷を教へる、それを頭のよい子供は覚え易い。それを覚えて本卷が出来るやうになるとそれは大喜である。それから頭の鈍い子供、活動の少い子供が本卷が出来るやうになると、急に頭が非常に伸びて活動が出て来る。随つて他の

すべての活動を呼び出して來るといふことになるのは、實に先生として嬉しい。子供は段々に早く巻い、綺麗に巻くやうになり、絲がもつれた場合などは實によい修養になる。

第四齣物 板ならべ

方形三角形半圓形長方形等の可愛い板を平面的に諸種の形に並べるのである。

實に面白がつて自由に並べて遊ぶ。吾々大人の想像もつかぬやうなことを並べる。自由工夫は大人より確かに甘い。偉大な創作力を有して居る又これに大人が考へた並べ方の手本を見せると、子供は實に偉いものであると思ふ。一目見るとすぐ其通り並べる。そして、すぐ自分の智慧の中へ取り込んで應用をする。子供の頭の活躍は大したものである。

第五齣物 豆插み

綺麗な箱に豌豆大豆小豆蠶豆等六種の豆が入れてある。それを箸で可愛い皿に挟み別けるのである。よくはさめるやうになるとなか／＼楽しみである。右でよく出来れば左手でするので、左手ではなか／＼はさまれないのであるが、子供といふも

のはながく辛抱強いものであるといふことについて大人が其辛抱といふ點について嘲けるやうな氣がして非常に刺戟されるのである。子供は其辛抱といふ將來にとつて大切な修養を不知不識實際してゐるのである。それに分類をするといふ經驗も得られ、大豆は豆腐、黒大豆は煮豆、小豆はあんこにといふ效能も自然に知ることが出来る。どうしても日本の子供として、五つ六つの子供で豆の充分にはさめない子供は頭がよくないか、手先が不器用なのか、人格的に統一のされてない子供が落付のない子供か辛抱の足りない子供であると思ふ。

第六斷物 色板

六色に大別され各色で濃淡に依つて五段に分れて居る。それを赤の行青の行といふやうに並べるのである。

初めは色の區別なくめちや／＼に並べる、段々に赤青黄といふやうに區別する尙進んでは各色で濃いことから、段々に淡いのを並べ、或は淡いのを第一にして第二第三四五と順次濃くして行く。或は自分が隨意順序を代へて二三四一五、或は四三一

五二、といふ風に自由に順序を代へて並べるやうになる。色の濃淡の鑑賞が明確になり圖案の頭が出来る。

第七斷物 片假名字合せ

繪カードの字の通り駒で合せるのである。幼い子供には只繪を並べて名をいはせるカルタのやうに取らせる。段々繪がわかるやうになると、一、二枚づゝ字合をする、遂には字の方を見ないで繪と駒の字を合はせるといふやうに進むのである。これに依つて自然に庶物の名を知る其内容を知らぬ教へないで字を覺へる。

身體の發達も智慧も字を教へるのに充分な程度にあり又充分覺えたい希望の湧いて居る子供には家庭でも字を教へたい希望で色々苦心されるのであるが、どうもおしまひには大人が無理に強いることになつて、不成績に終り勝である。遂に幼いのに字を教へるのは害がある打やつて置けといふ結論になるのであるが、この字合によれば子供が自分の希望の通り自然に覺えて満足をする、いつ覺えたとなしに覺えたといふ大切な教へ方になるのである。

全體發達の充分な子供は字を覺えたいといふ希望が起る。自分の活動範圍を擴張せんとする自然の趨勢である。教育が若し此希望に添はないといふのは丁度原の新芽を重い石で上から押へて居るやうなもので、曲りくねつて何處かすきから伸び出す。幼兒の心も其通り押へられた芽は何處かすきをねらつて曲がりくねつて必ず出るそれが俗に言ふじれといふものであり。或は我儘になつたり意氣地なしになつたり、うそつきになつたり意地悪になつたり、いたづらになつたり亂暴になつたりする(字だけのことでないが)。試に右のやうな状態に陥つてゐる子供に、字を教へて見ると適面におどなしくなり、趣味が高尙になり大に得意になるといふ實驗は多々あるのである。

第八節 竹馬

要するに普通の竹馬であるが、棒が竹では折るといふことや、とびがたつといふ危険があり保存期も短かく、そして繩が切れたり、緩んだり解けたり足踏が下つたりしてなかく手入が面倒でそれに婦人の手には一寸困難である。

右の如き次第であるから、棒を木の丸棒にし磔は一段二段の上下を子供で出来極乗り心地がよいやうに出来て居る。

竹馬は體育運動としても亦精神修養として結構

なものであり、身體は自然に輕快に運ぶやうになり、臆病心は驅逐せられる、それに幼兒が竹馬に乘らうとする其熱心には實に驚入るのである。乗り初めのときなどは落ては又乗り、轉んでは又とつつき、介助する先生がもうくたびれてしまふ位で、それで幼兒は平氣である。さうして遂によたよた乗り切る、さあ乗れるやうになつたときの得意さ加減は實にないのである。初は草履竹馬それから一段(高五寸)二段三段四段とすん／＼進むのである。

私の幼稚園では原段竹馬から一段二三四五六七八段まで備へてある。暑寒通しに盛んに流行する遊であるが、卒業間際になると優秀なものは八段(高さ四尺位)のに平氣で乗るものが必ず五六人は出来る。其内で女兒が二三人はあるのである。

第九節 柱登り

一尺置に足場をとりつけてある柱が三角形に樹てられ、其中間には足場なしの丸柱が樹てある。自由に登つたり下りたりするのである。子供にはとつつき易い、そして危険のない男の子にも女の兒にも大變善ばれる室外運動具である。

第十節 状袋貼り

紙を截つ状袋の定木と缺と色紙と貼繪とがは入てゐる。

色紙に定木で線をつけ切つて状袋を貼るのであり、可愛い綺麗な状袋が出来るのである。